



ふるさとの良さと歌が心に響く ～竹原市市制施行55周年記念 「ふるさと自慢うた自慢」公開収録～

5月10日、市民館で、竹原市市制施行55周年記念事業として、NHK「ふるさと自慢うた自慢」の公開収録が行われました。

総勢24人の地元出演者が、ふるさと竹原の自慢や歌声の披露、また、審査員・アシスタント・「ふるさとの星」などの役で出演し、ゲスト歌手の石原詢子さん、ジェロさん、NHKの吉田浩アナウンサーとともに収録を盛り上げました。

竹原の自慢として、竹楽器、竹バッグ、吉名のじやがいも、歴史かおる町並み、竹原ぶどう、魚飯の6点が披露され、それぞれの良さをアピールしました。

観客は抽選で選ばれた約800人。最初は緊張気味でしたが、徐々に緊張もほぐれ、大きな笑いや拍子が起きました。また、石原詢子さんやジェロさんの美しい歌声に耳を傾けていました。

収録後、来場者は、「竹原に住んでいても知らないことを知ることができてよかった。」「歌声がとてもきれいだった。」「感想を話してくれました。」

竹原の郷土愛と心に響く歌声で、観客が酔いしれた収録となりました。

今回収録した内容は、ラジオで放送されますので、ぜひお聴きください。

放送予定

放送局 NHKラジオ第1 (全国放送)
 日時 ※放送予定は変更になる場合があります。
 ふるさと自慢うた自慢
 6月22日(土) 16時5分～16時55分
 ふるさと自慢コンサート
 6月29日(土) 16時5分～16時55分

竹原市PR隊 今年も出陣！！



5月12日、マツダスタジアムで、竹原市のPRを実施しました。

市、観光協会、たけはらかぐや姫、かぐやパンダが、竹原の魅力を発信するため、大型ビジョンでのPR、1塁側コンコースでの商品の販売などを行いました。

今回は、広島東洋カープ・アニメ「たまゆら」とコラボしたうちわを作成し、入場ゲートで先着1,000人に配布しました。

物販のブースに立ち寄った人からは、「竹原はよく行くよ」と、温かい言葉をかけていただきました。

試合は、両者大量得点の激戦の末、見事カープが勝利！来場者のみなさんと喜びを分かち合いました。

次回のマツダスタジアムでのPRは、9月16日(月・祝)の巨人戦で行います。次回も、竹原の魅力や情報を全力で発信します。

物流センター 完成を祝う

4月24日、ペット関連用品卸売最大手の「ジャペル株式会社」が、竹原工業・流通団地に物流センターと営業所を建設したことに伴い、竣工式が行われました。出席者は、完成を祝福し、真新しい施設を見学しました。今後の更なる発展が期待されます。



くわで掘って タケノコとれたよ

4月14日～5月5日、小吹地区で、ファミリーたけのこ狩りが開催されました。来場者は、土から先端をのぞかせたタケノコを探し当て、くわで懸命に掘っていました。掘り進めると意外と大きなタケノコに悪戦苦闘。掘り終わった後は達成感であふれていました。



ニジマスつかまえた！

5月12日、仁賀小学校で、仁賀小まつりが開催されました。木の校舎の見学や児童による和太鼓演奏、釣り堀などが行われ、「ニジマスのつかみ取り」では大勢の子どもたちの歓声が響き渡りました。中には20匹以上捕まえる子も！塩焼きにして頬張ると、笑顔がこぼれていました。



元気いっぱい 運動会

5月26日、市内の小学校8校で運動会が行われました。忠海西小学校では、全校児童が赤組と白組に分かれて綱引きをしました。「そーれ！」の元気な掛け声で力いっぱい綱を引き、勢い余って尻餅をつく場面も。力を合わせて頑張る子どもたちに、会場からは拍手が送られました。



竹のオブジェ 町並みに出現！

4月27日～5月6日、町並み保存地区をメイン会場として、たけはら国際芸術祭2013が開催されました。

今年は「竹」をテーマに制作された作品が、文化施設や店舗などに展示され、期間中はアーティストによるワークショップも行われました。

5月4日は、松阪邸の庭に、竹で描かれた「鯉のぼり」の地上絵が出現！アーティストと参加者が協力し、竹が新たなアート作品に生まれ変わりました。来場者は、気軽にアーティストとの交流を楽しんでいました。



町並みでのんびり 竹まつり

5月3日・4日、町並み保存地区一帯で、第25回たけはら竹まつりが開催されました。

きらびやかな衣装のかぐや姫が人気のパレードや、癌封じ笹酒の振舞、竹細工体験、展示や販売などが行われました。

大崎上島町から来た夫婦は、「よく町並み保存地区を徒歩や自転車で通るけど、竹まつりに来たのは初めて。お祭りの雰囲気もまたいいですね。」と、笑顔で話してくれました。

来場者の顔がほころび、ゆったりとした時間が流れた2日間でした。